



ウイラレポート 2012年7月号

「3GPPの今後の動き(Release12以降)」

はじめに

6月11, 12日、スロベニアのリュブリャナで3GPP TSG-RANのRelease12 and Beyondという名前のWorkshopが開催された。3GPPではRelease11を現在審議中の状況だが、IMT-Advancedも一段落した現在、少し長期的な視野で今後の移動無線技術のあり方を議論しようという趣旨のワークショップである。世界各国43団体から自社の将来ビジョンが提案された。

移動通信の市場は年々拡大し、それに伴ってサービスエリアも広がり、少なくとも都市生活者にはどこでも無線ブロードバンドを使える環境が出来上がっている。それを受けてスマートフォンは急速に普及し、クラウドサービスも生活に入り込んできている。そのインフラを支える技術を担当しているのが3GPPであり、このワークショップは今後5年程度の無線技術の実用化動向を示しているとみて差し支えないだろう。

今月はこのワークショップ示された各社のビジョンを分析する。